

観察研究へのご協力のお願い

社会医療法人 博愛会では、以下に該当される患者様を対象とした
臨床研究（後ろ向き観察研究）を実施しております。

トリプルネガティブ乳癌における主要組織適合性複合体
(Major Histocompatibility Complex; MHC) class I 発現と
腫瘍免疫に関する臨床病理学的検索

- 研究責任者： 相良病院 乳腺・甲状腺外科 医長 権藤なおみ
- 共同研究者： 相良病院 病理診断科 部長 兼 副院長 大井 恭代

<共同研究者>

- 松山市民病院 病理診断科
部長 飛田 陽
- がん研究会有明病院 先端医療開発センター
がん免疫治療開発部長 北野 滋久
がん免疫治療開発部 山下 万貴子
- 研究の概要：
トリプルネガティブ乳癌 (triple negative breast cancer; TNBC) における主要組織適合性複合体 (Major Histocompatibility Complex; MHC) class I 発現と免疫関連因子を臨床病理学的に検索し、腫瘍免疫に関する微小環境の病態解明を目指す。
- 研究の対象となり得る患者様
西暦 2007 年 1 月 1 日から西暦 2014 年 6 月 30 日の間に、相良病院乳腺科で乳癌切除手術を行い、標準的な術後補助療法を受けた患者のうち、組織学的にトリプルネガティブ乳がんと診断された症例。
- 研究の方法
後ろ向き観察研究
- 研究期間
倫理審査委員会承認日～西暦 2023 年 7 月 1 日
- 研究方法
手術時の残余検体から得られた標本スライド、日常診療で得られた診療情報や検査結果データ等の後方視的な解析です。

※上記、組織標本スライドを郵送にてがん研有明病院 先端医療開発センター がん免疫開発部へ送付。

※本研究は、過去に採取され当院に保管されている乳癌の組織検体を用いて行います。そのため、今回の研究への登録において、新たにあなたに検査を受けてもらう等、ご負担 をお願いすることはございません。

- 情報の保管・管理

研究責任者は、研究等の実施に関わる文書（申請書類の控え、通知文書、研究対象者識別コードリスト、同意書、症例報告書、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を医局の鍵のかかるロッカーに保管する。

保管期間は、研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とする。

保管期間終了後に紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄する。その他媒体に関しては適切な方法で破棄する。

- 資金と利益相反

本研究は、現在研究助成金申請中である。本研究の研究者（飛田 陽）は、四国がんセンター臨床研究推進部から資金援助を受けている。

本研究の実施については、「社会医療法人博愛会 倫理委員会」で承認されています。

お名前・住所などの個人情報が本研究で利用されることは無く、あなたのプライバシーは厳重に守られ、一切公表されません。

このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む実施についての情報を公開することが必要とされています。

本研究について何か気がかりな点や、より詳しくお聞きになりたい点等ございましたら、下記相談窓口までお問い合わせください。

本研究の対象に該当する場合であっても、ご自身の情報や画像情報を用いての本研究への協力をご希望されない場合は、あなたの情報を本研究に用いることは致しません。

その際は、遠慮なく下記「お問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

2021 年 9 月



<問い合わせ 連絡先>

社会医療法人博愛会 相良病院

乳腺・甲状腺外科

権藤なおみ

電話：099-224-1800